

こんな授業も行っています！！

看護師は自己の高い志と他者を思いやる心が必要であり、看護の対象をより理解する必要もあります。そこで、当校では個々の価値観や感性を高めるための授業を行っています。今回は、2年次の「創造と芸術」の授業を紹介します。授業では、学生一人一人が2つの作品の制作を行いました。

ぐしゃぐしゃに丸めた紙をゆっくり開いていって「なんかいいな」と思う形になった紙を写真で撮影しました。



誰かが書いた想像上のイラストをもとに料理を作る課題です。

全員の作品を展示してみると、美術館のようでした♪



学生みんなで掲示しました。
色の配置はどうかぁ～？
見る人が見やすい高さは？など、
様々なことを考えながら掲示して
いきました。
見る人のことを考えるということ
も、「他者を思いやる心」ですよ！



食材の色や形をよく観察しながら、想像しながら誰かに喜んでもらうための食べられる彫刻です。絵で表現されたことをただ作るのではなく、おいしいことが条件です。おいしく作ることも相手への思いやりですね。



2つの作品を作成・展示し、個々の作品を鑑賞しました。みんな、いい笑顔ですね◎

他者の作品を通して自分にはない感性に触れ、新たな「気づき」を得ることや自己の価値観が広がったという方もいるのではないのでしょうか。芸術と看護は一見関連がないように感じますが、感性を養うことで自己の看護観を高めることにもつながります。今回の学びを今後活かしていきましょう！